

■池大雅 文人画家。同じく画家だった妻玉瀾とともに、画業に没頭、売画を好まず、奇行の人と伝えられた。

いけのたいが

火の見櫓制・1723＝ 京都西陣に生まれた。父池野嘉左衛門は京両替町の銀座役人中村氏の下役であった。

懐徳堂公認・1726＝ 3歳：父が死去。以後、母子家庭。

徂徠没・・・1728＝ 5歳：香月茅庵に漢文の素読を学ぶ。

梅岩心学始・1729＝ 6歳：川端檀王寺内の清光院一井に書道を学ぶ。黄檗山万福寺に上り、第12世山主であった杲堂禅師や丈持大梅和尚の前で大字を書し、7歳の神童と賞される。環境に恵まれ、文人的教養が植え付けられた。

享保大飢饉・1732＝ 9歳：

この間、独学で絵を学び、

懸鈔再開・・・1736＝13歳：柳沢淇園と初めて会って、才能を見いだされたとされる。

・・・1737＝14歳：父の名を襲名。待買堂、袖亀堂などと号して扇屋を構え、扇子に絵を描いて生計を立てる。

・・・1741＝18歳：篆刻家の高芙蓉、書家の韓天寿と知り合い、以後終生親密に交わる。

梅岩没・・・1744＝21歳：*後の妻玉瀾と出会い、その母から金を得て修業に出る。現存する最も初期の作品「渭城柳色図」「秋汀対話図」「箕山瀑布図」。

徳川吉宗隠居1745＝22歳：「梅竹双清図」「赤壁後遊図」「指墨山水図」。

菅原伝授十・1746＝23歳：「風雨起龍図」「柳溪渡渉図」「韓退之像」。

義経千本桜・1747＝24歳：「霊沼苜香図」「指墨呂洞賓図」「松下吹笙図」「僊山樓閣図」「苛仙姑図」。

忠臣蔵・・・1748＝25歳：「赤壁舟遊図」「指墨人物図」「指墨寿老人図」。淇園の紹介で木村兼葭堂が入門し、初の弟子となる。東海道を下り、富士、江戸、日光、松島を旅する。初めて西洋画を見て感動。

・・・1749＝26歳：北陸へ旅し、白山、立山に登る。金沢に滞在。「陸奥奇勝図巻」をはじめ多くの絵を描く。

・・・1750＝27歳：吉野、熊野に旅をし、祇園南海を訪ねる。

徳川吉宗没・1751＝28歳：「楽志論図巻」「川逸趣図屏風」。*白隠に参禅し、玉瀾と結婚。「秋江帰舟図」。

・・・1752＝29歳：「竹石図」。伊勢に旅立つ。各地の素封家が、旅する大雅の人生と芸術を支えていたらしい。

薩摩藩工事・1753＝30歳：「華封三祝図屏風」「赤壁図扇面絵馬」「竹石図」。

山脇東洋解剖1754＝31歳：「秋景山水図」「蘭亭曲水図」。

自然真菅道・1755＝32歳：「山郵馬市図」「山水図巻」「飲中八仙図巻」。出雲へ行き松江で「林外望湖図」「船上吹笛図」。

・・・1756＝33歳：「山郭晴光図」「湖山図」「梅石図」。

宝暦事件・・・1758＝35歳：「雲林清暁図」。

大弐政治批判1759＝36歳：母が死去。「羅漢渡海図」「梅花草堂図」。

大岡忠光没・1760＝37歳：「浅間山真景図」。高芙蓉、韓天寿と白山、立山、戸隠山、浅間山に登る。江戸に出て富士登山。

・・・1761＝38歳：「和合峯晴景図」「南極寿星・四季山水図」。再び富士登山。数年間富岳図制作に熱中。

・・・1762＝39歳：「四高士図巻」「六遠図巻」「富士白糸滝図」「画式四種」「叡山瞰望図」。

・・・1763＝40歳：「龍山勝会図」「楓橋夜泊図」「金碧山水画帖」。

蘭銭初輸入・1765＝42歳：「日本十二景図」「遊山翫水図巻」。吉野山に登る。

忠臣蔵大当り1766＝43歳：「六遠図」「霞彩嵐光図巻」。

明和事件・・・1767＝44歳：「春山浴雨図」。

久留米藩工事1768＝45歳：「墨梅図」。

・・・1769＝46歳：「四季山水十二景」「離合山水図屏風」。

・・・1770＝47歳：「春山出岫図」「竹巖新霽図」。

御蔭参流行・1771＝48歳：「洞庭赤壁図巻」。*与謝蕪村と「十便十宜帖」を競作。

田沼意次老中1772＝49歳：

大原騒動・・・1773＝50歳：「武陵桃源図」「開門待友図」。

雨月物語刊・1776＝53歳：「松島高士図」。病を得て没した。